

4．各分野における指導計画

(1) 人権・同和教育

1．目 標

正しい人権感覚を身につけさせることに力を注ぎ、身のまわりの事実を鋭く見つめ、矛盾や不合理についてみんなと共に考え、差別をとりのぞいていける子どもを育てる。

2．努力点

正しいものの見方・考え方を育てる。そのため、全教育活動を通して目標達成の努力をする。

3．具体的な取り組み

- (1) 身のまわりの問題（人を傷つける言動等）に気づき、物事の善悪等を考える力を育てるために、学級経営を工夫する。
- (2) 仲間づくりを重視した学級づくりをすすめる。
 - ・一人ひとりの子どもをよく知り、学級・学年内での子ども同士の関わりをとらえ、日頃の指導にいかす。
 - ・相手の話をしっかり聞き、集中して学習がすすめられる学級づくりにつとめる。
 - ・子どもの生活を知り、基本的生活習慣の確立に力を注ぐ。
- (3) 人権にかかわる授業に取り組み、各学級の実践をまとめる。
- (4) 「基礎学力」の充実のため、教材及び指導法の研究を深め、「わかる授業」を創造する。
- (5) 平和学習の取り組みをする。
- (6) 教職員の人権意識を高めるために、積極的に学習の場をもうけ、研修を深める。
- (7) 保護者の人権意識を高めるため、学級懇談会・地区懇談会・保護者学級などを通じて啓発を進める。